

1. ルイ・ヴィトンのトランク大看板撤去開始

上海市南京西路の商業ビル「恒隆広場」にあるルイ・ヴィトンのトランク大看板が、地元の強い要請により取り壊されることになった。上海の屋外広告の規制は高さ9m、厚さ0.5m以下とされており、このトランク大看板は高さ20m、奥行き4mで明らかに違反していた。この大看板は、昨年設置されたものだが、当初は屋内工事のための目隠しとして許可されていた。それが長期に渡り、既成事実化されそうだったため、今回の取り壊し命令となった模様。4/17から撤去作業が開始された。



2. 上海市の常住人口2000万人を突破

上海市発表の人口統計によると、2010年末時点での常住人口は、2220万8300人に達したという。このうち上海市の戸籍を持たない出稼ぎ労働者などの流動人口は約4割まで拡大した。また60歳以上の高齢者人口の割合は22.5%となり、5人に1人が高齢者である。さらに14歳以下の若年人口は8.3%で、高齢者人口は今後、毎年20万人ずつ増加する見通しなので、勤労世代への社会保障費などの負担、上海市全体の労働力不足などが危惧されている。このほか、1平方キロ当たりの人口密度は3503人で、全国平均の20倍。

3. 上海の175人に1人が1000万元富豪

ある研究者が、上海に住んでいる1000万元(約1億3千万円)以上の資産を保有する富豪は、13万2000人で、しかもその平均年齢は39歳と発表した。これによれば、上海市には175人に1人の割合で、若年の1000万元富豪がいるという計算になる。彼らは平均3台の車を乗り回し、高級腕時計4個を持っているという。職業別では、企業家55%、不動産投資家20%、証券投資家15%の順。

4. 上海市の成人は40%弱が肥満

上海交通大学の調査によれば、上海市の成人男女は40%弱が肥満であることがわかった。30代は32.7%、40代は39.4%、50代は41.4%であるという。なお、30代は週平均3回外食をしており、ファストフードやインスタント食品を週2回ほど食べているという。

5. 上海で、「飼い犬管理条例」スタート

4/15から、上海市で「飼い犬管理条例」施行された。上海市では生活水準の向上や高齢者の増加により、ペットとしての「飼い犬」が激増。それとともに未登録犬も登録犬の約4倍に当たる60万匹以上に増えた。市当局も狂犬病急拡大の恐れを強く認識し始めており、従来の登録費1000~2000元を約1/3に大幅値下げした新たな条例を打ち出した。市民の間ではこの条例がおおむね歓迎されているが、未登録犬が絶無になることはないし、飼い主に糞尿などの始末のマナーがまったく徹底していないと、眉をしかめている人も多い。

6. 上海市で生ゴミ分別スタート

上海市当局は、増え続けるゴミ対策として、このほど市内のモデル地区100箇所を対象に、生ゴミとその他のゴミの分別回収を試験的にスタートさせた。この経験をもとに、2015年には市内全域で、生活ゴミの分別を徹底させる計画だという。

7. 上海市浦東新区陸家嘴に大型地下歩道建設

上海市の浦東新区陸家嘴で、同区にある主要な施設と地下鉄などをつなぐ大型の地下歩道を建設することが発表された。同区には金茂大厦、上海環球金融中心、建設中の上海中心などの高層ビルや、正大広場、上海国金中心商城などの大型商業施設が林立しており、それらと地下鉄2号線、14号線をつなぐ地下歩行空間を2階建て構造で建設する計画。投資総額は4億7千万円(約59億円)。ただし地盤の問題が危惧されている。

8. 上海でビル火災 4人死亡

4/19午後1時半ごろ、上海市中心部の人民広場に近い上海電信ビル(地上24階建て)の13階から出火。室内でエアコンの溶接作業をしていたところ、断熱材に引火。ビル内にいた4人が窒息死。

9. 上海の日系塗装工場で火災

5/16午前、上海市金山区にある日系塗装工場:和宏華進納米科技(上海)有限公司で爆発を伴う火災が発生。中国人従業員2名が死亡。除塵室内でこぼれた溶剤に引火したのが出火原因と思われる。同会社は日本の独資で、2007年に稼働、従業員は400名、携帯電話やデジタルカメラのケースの塗装を手がけていた。

10. 日本人開業のショッピングモール、1年弱で閉鎖

上海市盧湾区徐家匯路にある日本人経営のショッピングモール「東方天地」が、開業1年足らずで閉鎖に追い込まれた。周辺の道路に人通りが少なく、立地条件が悪かったものと見られる。しかし4/30には大手家電量販店の蘇寧電器がこの場所でオープン。

《閉鎖された「東方天地」》 →



11. 上海市浦東新区で、「そごう」ブランドの高級百貨店建設計画

上海市の浦東新区、地下鉄2号線「東昌路駅」の南側に、香港で「そごう」ブランドの百貨店を運営する利福国際集団が高級百貨店を建設する計画で、同地区の開発会社が合意。総建築面積は約30万㎡で、2017年ごろオープン予定。

《建設予定地》 →



以上